

## 小中大連携の取組状況について

	学部等	取組名	取組概要	対象者					実施年度					備考	
				小学生	中学生	高校生	大学生	一般	R3	R4	R5	R6	R7		R8 (予定)
1	看護	高校生向けSST	<p>目的 平成28年度からは発達障害をもつ小中学生を対象とした「小中学生向けSST」を行っており、小中学生のコミュニケーション能力の向上を図る。令和7年度からは、高校生を対象とした高校生向けSSTを実施している。</p> <p>内容 友達や家族との付き合い方など人付き合いを学ぶソーシャルスキルトレーニング(SST)を行う ユース(高校生)1回/月 4月～3月 12回</p>	○	○	○			○	○	○	○	○	○	(関係資料等) <a href="https://fuminori3.wixsite.com/website">https://fuminori3.wixsite.com/website</a>
2	看護	ピアいぶカウンセリング活動 (看護学部教員と学生のボランティア活動)	<p>目的 思春期に特有の健康問題などについて学生が主体的に学習しながら、県内各地の中学校・高校で思春期保健授業やピア・カウンセリング活動を実施する。</p> <p>実施校 岩手町立川口中学校、 岩手県立西和賀高等学校、岩手県立南昌みらい高等学校</p> <p>2019年からは滝沢市のラーニングサポーター・プロジェクトに参加して、小中学生への学習支援を行っている。</p>	○	○	○			○	○	○	○	○	(関係資料等) <a href="http://www.nurs.iwate-pu.ac.jp/campuslife/club_activity/">http://www.nurs.iwate-pu.ac.jp/campuslife/club_activity/</a>	
3	看護	「いわての復興教育」の推進を支援するための「いわての師匠」復興事業	<p>目的 次代の復興を担う人材の育成を目的に、「いわての師匠」派遣事業を実施。</p> <p>具体的には、『いわての復興教育プログラム』における教育的価値 具体の21項目を踏まえながら、県内の小中学校、高等学校等の依頼に基づき、いわて未来づくり機構会員が職員等を派遣し、授業提供または講演を行うことで、各学校の復興教育がより効果的なものとなることを目指す</p>		○				○		○			(関係資料等) いわての師匠 <a href="https://www.ccrd.iwate-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/03/202402_guideline.pdf">https://www.ccrd.iwate-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/03/202402_guideline.pdf</a>	
4	看護	思春期保健講演会	<p>目的 かけがえのない命の大切さに気づき、自他を思いやる気持ちを育む。</p> <p>令和7年度実施状況 開催日 令和7年11月5日(水) 参加者 滝沢市立滝沢第二小学校5年生74名及び教職員 内容 「いのちのバトン、うまれるいのち」をテーマに、いのちのつながり、そして大切さについての講話。生命の誕生が奇跡であることを伝え、自分も他者もひとりひとりが大切な存在であること、思いやる心が大切であることを理解する機会とする。 事前に自身が生まれた時のエピソードを家族から聞いてくる。 始期:2020(R2)年度</p>	○					○	○	○	○	○	(問い合わせ先) 看護学部	

	学部等	取組名	取組概要	対象者					実施年度					備考	
				小学生	中学生	高校生	大学生	一般	R3	R4	R5	R6	R7		R8 (予定)
5	看護	性に関する講演会	<p>目的:命(生き方)の大切さを考える。 男女交際、性情報への対処、性に関する適切な態度や行動の選択について考える。 異性への尊重を考える。</p> <p>令和7年度実施状況 開催日 令和7年9月16日(火) 参加者 滝沢市立第二中学校3年生147名 内容 「考えてみよう！ー生と性のことー」をテーマに、思春期の心身の変化、性の情報について、性に関する考え方の多様性、デートDV、性行為感染症、予期せぬ妊娠について講話 始期:2022(R4年度)</p> <p>開催日 令和7年6月4日(水) 参加者 盛岡工業高校1年生 120名 内容 「“性”ってなんだろう？～大人に近づく君たちへ伝えたいこと～」をテーマに性の健康問題、防ぐ方法、愛し合える関係のために大切なことについて講話</p>		○										(問い合わせ先) 看護学部
6	看護	くずまき中3いのちの学習会	<p>目的 葛巻町内の中学校・高等学校が連携して、葛巻の生徒の実態に合った「性の知識」や「正しい価値観」を身につけ、自他を大切にしようとする心を育てる。 小学校養護教諭とも連携し、町内の児童生徒の実態を共通理解し、小中高の発達段階に応じた性に関する指導を目指す。</p> <p>令和7年度開催状況 開催日 令和7年9月19日(金) 参加者 葛巻町内の中学生(葛巻中学校、江刈中学校、小屋瀬中学校)21名及び教職員 内容 性、ジェンダーに関する講話(男女交際・男女の性意識の差・相互尊重) 始動2018(H30年度)</p>		○										(問い合わせ先) 看護学部
7	看護	保健講話	<p>目的 性に関する正しい知識を身につけ、自分のこととして考える。 自他を大切にすることを養う。</p> <p>内容 いのちの尊厳、自分と他者を大切にすること 思春期のこころとからだの変化、性の考え方、デートDV、ライフプランについて</p>		○										(問い合わせ先) 看護学部

	学部等	取組名	取組概要	対象者					実施年度					備考	
				小学生	中学生	高校生	大学生	一般	R3	R4	R5	R6	R7		R8 (予定)
8	看護	性と生に関する学習会	<p>目的 中学生として必要な思春期の性に関して、正しい知識や自分自身の成長を知らせ、他への思いやりとこれからの生き方を考えさせる機会とする。</p> <p>令和7年度開催状況 開催日 令和7年9月30日(火) 参加者 一戸町立中学校の生徒 内容 「生と性 自分も相手も大切に」と題し、中学生として必要な思春期の生に関して、正しい知識や自分自身の成長を知り、他への思いやりとこれからの生き方を考えることをねらいとして講話</p> <p>開催日 令和7年12月2日(火) 対象者 玉山中学校3年生5名 内容 「素敵な恋愛をするために ～思春期の皆さんに伝えたい大切なこと～」を手間、他者とのコミュニケーションの大切さ、性の健康問題の実際、そして、かけがいのない自分を大切にしたいことを伝える講話</p>		○							○	○	(問い合わせ先) 看護学部	
9	看護	3年思春期講演会	<p>目的 中学3年間で9回の健康に関する講演会の一環として、性の知識を切り口に、自身の将来の健康と幸せに向けた生活を考える。</p> <p>令和7年度開催状況 開催日 令和7年10月9日(木) 参加者 岩手町立沼宮内中学校3年生 内容 「考えてみよう 生と性のこと」をテーマに、思春期の心身の変化とホルモンの影響、月経トラブルについて、性感染症と避妊について講話</p>		○							○	○	○	(問い合わせ先) 看護学部
10	社会福祉	どろんこ隊☆ミライ「みんなの学習室」	<p>岩手県立大学アイーナ・キャンパス学習室を拠点に、小中学生を対象とした居場所支援および保護者のレスパイト支援を実施している。利用数の増加ではなく、必要なときに常に開かれている状態の維持を重視し、安定的な居場所の確保に取り組んでいる。加えて、食事に関する助成金を活用し、活動終了後に弁当の配付を行うことで、学習・居場所支援と食支援を一体的に提供する体制を構築している。</p> <p>岩手県立大学アイーナキャンパス学習室 毎週土曜日15時～18時 年間35回実施した。</p>	○	○	○			○	○	○	○	○	<p>(関係資料等) <a href="https://doronkotaimirai.jimdo.site.com/">https://doronkotaimirai.jimdo.site.com/</a></p> <p>(問い合わせ先) 「どろんこ隊☆ミライ」 doronkotai.mirai@gmail.com</p>	
11	社会福祉	どろんこ隊☆ミライ「タキ木の広場」	<p>滝沢市IPUIノベーションセンターにおいて、中学生を対象とした学習支援および居場所支援を実施し、一人ひとりの学びと安心を支える環境づくりと人とのつながりの形成に取り組んでいる。2025年度は全14回開催し、部活動のない月曜日の16時から18時に実施した。活動終了後にはスタッフとともに軽食をとる時間を設け、学習支援にとどまらない継続的な関係形成と居場所機能の充実を図っている。</p>	○	○	○						○	○	(問い合わせ先) 「どろんこ隊☆ミライ」 doronkotai.mirai@gmail.com	

	学部等	取組名	取組概要	対象者					実施年度					備考
				小学生	中学生	高校生	大学生	一般	R3	R4	R5	R6	R7	
12	社会福祉	どろんこ隊☆もぐもぐ食堂 「子ども食堂」	南青山公民館において子ども食堂「青山もぐもぐ食堂」を3回開催し、遊びや食事を通じた関わりを基盤に、子どもが安心して過ごせる居場所と人とのつながりを育む実践を行っている。 「みんなの学習室」「タキ木の広場」の軽食(市販弁当)のサポートを行った(全48回)。	○	○	○						○	○	(問い合わせ先) 「どろんこ隊☆ミライ」 doronkotai.mirai@gmail.com
13	ソフトウェア情報	おでんせ！サイエンスキッズ&ジュニア	目的: コンピュータ好きの児童や生徒を育てること  内容 学部教員を講師とした体験型イベント(テーマ例(R5):①コンピュータになりきろう、②ドローンを動かすプログラムを作ろう、③レッツ・ロボット・プログラミング) 始期:2016(H28)年度  (1)バリアフリーマップを作って世界に公開しよう！ 対象 小学4年生～中学3年生 開催日 令和7年7月30日 参加者 4名  (2)レッツ・ロボット・プログラミング 対象 小学4年生～中学3年生 開催日 令和7年8月5日 参加者 2名  (3)ロボットをコースに沿って走らせよう！ 対象:小学3年生～6年生 令和7年度開催実績 開催日 令和7年8月6日 参加者 3名  (4)ドローンを動かすプログラムを作ろう！ 対象:小学4年生～中学3年生 令和7年度開催実績 ①8/7(AM) 参加者:8名 ②8/7(PM) 参加者:11名	○	○				○	○	○	○	○	(関係資料等)・R7年度ウェブページ <a href="https://www.soft.iwate-pu.ac.jp/2025/07/11/skidsjr-2025/">https://www.soft.iwate-pu.ac.jp/2025/07/11/skidsjr-2025/</a> ・R6年度ウェブページ <a href="https://www.soft.iwate-pu.ac.jp/2024/07/08/skidsjr-2024/?parayear=2024">https://www.soft.iwate-pu.ac.jp/2024/07/08/skidsjr-2024/?parayear=2024</a> ・R5年度ウェブページ <a href="https://www.soft.iwate-pu.ac.jp/2023/07/07/skidsjr-2023/?parayear=2023">https://www.soft.iwate-pu.ac.jp/2023/07/07/skidsjr-2023/?parayear=2023</a> ・R4年度ウェブページ <a href="https://www.soft.iwate-pu.ac.jp/2022/07/11/skidsjr-2022/?parayear=2022">https://www.soft.iwate-pu.ac.jp/2022/07/11/skidsjr-2022/?parayear=2022</a> ・R3年度ウェブページ <a href="https://www.soft.iwate-pu.ac.jp/2021/07/15/skidsjr-2021/?parayear=2021">https://www.soft.iwate-pu.ac.jp/2021/07/15/skidsjr-2021/?parayear=2021</a>  (問い合わせ先) ソフト広報委員会担当
14	ソフトウェア情報	滝沢市内小学校のプログラミング教育	滝沢市内小学校のプログラミング教育のモデルカリキュラム策定と授業の展開を行った。 本学の地域協働研究(滝沢市教育委員会との研究)のステージⅠ,ステージⅡ,フォローアップ研究で実施したものである。	○					○	○	○			(問い合わせ先) ソフトウェア情報学部
15	ソフトウェア情報	雫石町ドローンプログラミング教室	目的 雫石町の小学生にドローンを利用したプログラミングを体験させ、ソフトウェアに興味を持たせるきっかけを作ること。  内容 まずはドローンを自分で操作して動かすことを体験。その後、スタート地点からいくつかのタスクをこなした後にゴール地点に着陸させるプログラム作成を体験。	○						○	○			(問い合わせ先) ソフトウェア情報学部

	学部等	取組名	取組概要	対象者					実施年度					備考		
				小学生	中学生	高校生	大学生	一般	R3	R4	R5	R6	R7		R8 (予定)	
16	ソフトウェア情報	一戸町小鳥谷小学校ドローンプログラミング演習	<p>目的 小鳥谷小学校児童にドローンを利用したプログラミングを体験させ、ソフトウェアに興味を持たせるきっかけを作ること。</p> <p>内容 まずはドローンを自分で操作して動かすことを体験。その後、スタート地点からいくつかのタスクをこなした後にゴール地点に着陸させるプログラム作成を体験。</p>	○					○  (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	○						(問い合わせ先) ソフトウェア情報学部
17	ソフトウェア情報	山田小学校プログラミング教室	<p>山田町との地域協働研究の一環として、小学校4年生の2クラス全員に子供向け小型PC「IchigoJam」を用いたプログラミング教室を実施した。</p> <p>令和5年度は、駅前のコミュニティセンターで小規模開催したが、令和6年度は山田小学校の授業に組み込み実施した。その結果、約70名の児童がプログラミング体験をした。</p>	○							○	○				(問い合わせ先) ソフトウェア情報学部
18	ソフトウェア情報	滝沢市ラーニング・サポーター・プロジェクト	岩手県立大学ソフトウェア情報学部在学中の教員志望者などを学習支援ボランティア(ラーニング・サポーター)として活用し、滝沢市内小中学校で児童生徒に対する学習(数学)支援などを実施します。									○	○	○		(問い合わせ先) ソフトウェア情報学部
19	ソフトウェア情報	スクールトライアル(岩手県教育委員会主催)	県内の教員志望の大学生が県内の市町立学校または特別支援学校に行き、学校における様々な活動の支援を実施します。										○	○		(問い合わせ先) ソフトウェア情報学部
20	総合政策	日語商店街街歩き(日語小学校)	<p>目的 小学生のキャリア教育</p> <p>内容 街歩きをしながら、小学生が商店街の店主の職業観について学び、県大生がサポート</p>	○							○	○	○	○		(問い合わせ先) 総合政策学部
21	総合政策	小学校における 海浜植物・海ごみ授業	<p>内容 東日本大震災で被災した地元の砂浜の海浜植物および海ごみの現状を知るための授業を陸前高田市立広田小学校、山田町立船越小学校、野田村立野田小学校で行っている。</p>	○						○	○	○	○	○	○	(問い合わせ先) 総合政策学部
22	総合政策	宮古市立崎山小学校 海浜植物・植栽樹成長調査授業(震災学習の一環)	<p>内容 東日本大震災で被災した地元の砂浜の海浜植物および被災した公園に植栽した樹木の成長調査を行っている。</p>	○						○	○	○	○	○	○	(問い合わせ先) 総合政策学部
23	総合政策	釜石市立釜石東中学校 海浜植物植栽授業	<p>内容 東日本大震災で被災した地元の砂浜の海浜植物および海ごみの現状を知るための授業を行っている。</p>		○					○	○	○	○	○	○	(問い合わせ先) 総合政策学部

	学部等	取組名	取組概要	対象者					実施年度						備考	
				小学生	中学生	高校生	大学生	一般	R3	R4	R5	R6	R7	R8 (予定)		
24	総合政策	「いわての師匠」派遣事業 【北上市立黒沢尻北小学校】 3年生	目的 講話、演習を通じ、児童の安全に対する資質、能力の向上を目指す。  内容 講話(危険の具体的学習)、ワークショップ(危険を探す演習)、まちあるき(フィールドワーク)、安全マップづくり、資料作りと発表 *危険に関する視点やポイント、情報活用等についての指導助言 *地域安全への意識醸成	○						○	○	○	○	○	○	(問い合わせ先) 総合政策学部
25	総合政策	(同上) 【紫波町立日詰小学校】 1～6年生	目的 東日本大震災津波から15年を迎えるにあたり、東日本大震災津波からの教訓を踏まえ、次の災害に備える知識を身に着ける	○										○	○	
26	総合政策	(同上) 【奥州市立常盤小学校】 1～6年生	目的 東日本大震災津波から15年を迎えるにあたり、東日本大震災津波からの教訓を踏まえ、次の災害に備える知識を身に着ける	○										○	○	
27	総合政策	(同上) 【奥州市立稲瀬小学校】 1～6年生	目的 東日本大震災津波から15年を迎えるにあたり、東日本大震災津波からの教訓を踏まえ、次の災害に備える知識を身に着ける	○										○	○	
28	総合政策	(同上) 【盛岡市立本宮小学校】 5年生	目的 災害発生時に利用する避難所の運営や課題について、避難所運営ゲームHUGを通じた体験学習を行う。	○										○	○	
29	総合政策	(同上) 【滝沢市立滝沢第二中学校】 2年生	目的 災害発生時に利用する避難所の運営や課題について、避難所運営ゲームHUGを通じた体験学習を行う。		○									○	○	
30	総合政策	(同上) 【盛岡市立北稜中学校】 3年生	目的 災害発生時に利用する避難所の運営や課題について、避難所運営ゲームHUGを通じた体験学習を行う。		○									○	○	
31	総合政策	(同上) 【遠野市立遠野西中学校】 1～3年生	目的 災害発生時に利用する避難所の運営や課題について、避難所運営ゲームHUGを通じた体験学習を行う。		○									○	○	
32	総合政策	(同上) 【奥州市立衣川中学校】 1～3年生	目的 災害発生時に利用する避難所の運営や課題について、避難所運営ゲームHUG・避難所体験・災害時の情報の使い方等を通じた体験学習を行う。		○						○	○	○	○	○	
33	総合政策	西和賀町森のサイクル普及啓発プロジェクト事業の一環「森林環境教育事業」(岩手県立大学としてではなく、森林インストラクターとして引き受け、実施するようになったもの)	目的 町内の小・中学校で森林環境教育を実施、身近にある森林が地域にとって大切な資源だと気づききっかけや、林業について学ぶ機会を作ること、林業や木工という職業を知ること。  内容 森林に関する座学+森林作業体験(間伐、玉切り、デモ)	○	○					○	○	○	○	○	○	

	学部等	取組名	取組概要	対象者					実施年度					備考	
				小学生	中学生	高校生	大学生	一般	R3	R4	R5	R6	R7		R8 (予定)
34	総合政策	森林学習会(岩手県立大学としてではなく、森林インストラクターとして引き受け、実施に協力したもの)	目的 森林・林業に対する理解の醸成を図るため、児童・生徒をはじめ、広く県民の方々を対象として、森林・林業に関して学習する機会を提供する。  内容 県内の教育事務所を通じて募集した小中学校において、森林インストラクター等による樹木観察などの森林環境学習を実施	○	○				○	○	○	○	○	○	(問い合わせ先) 総合政策学部
35	盛岡短期	学童に対する食育と栄養バランスに配慮したお弁当の提供	目的 お弁当を食べながら食育と栄養バランスを学んでもらうこと  内容 近隣の学童クラブ利用小学生に対して、食育と栄養バランスに配慮したお弁当を届けた(100食×2回)	○											(問い合わせ先) 生活科学科食物栄養学専攻
36	盛岡短期	二戸市教育委員会主催「槻蔭舎きぼう塾」	目的 将来の進路を考え、自己実現と社会貢献を目指す青少年の育成を目指すほか、保護者と一緒に参加することにより家族間のふれあいや保護者自身の生涯学習機会とする取り組み。  内容 縫製企業を多く持つ二戸地区の中学生に向けて、ファッションの意味や現代ファッションの課題について考えてもらうことをねらいとしたミニ講義。		○							○			(問い合わせ先) 生活科学科生活デザイン専攻
37	盛岡短期	盛岡短期大学部公開講座「親と子の都市と建築講座2025 組手什で小さな家具づくり」(日本建築学会東北支部環境工学部会・盛岡短期大学の共催)	目的 組手什(くでじゅう)を加工し、「おもちゃ棚」の製作を通して、木材によるものづくりを楽しむ。  内容 間伐材を活用して製品化され、釘やネジを一切使用せずに、はめ込むだけで組み立てることができる組手什を使って、棚を作る体験イベント。	○	○			○						○	(問い合わせ先) 生活科学科生活デザイン専攻  対象者:小中学生と保護者
38	盛岡短期	盛岡まち歩き こどもたてものたんけんたい(岩手県建築士会・盛岡短期大学の共催)	目的 建築士と一緒にまち歩きをしながら盛岡市内の近現代建築物をめぐる、小中学生に、建築に興味を持ってもらう。  内容 内丸・中ノ橋界隈の歴史的建築物などを巡るまち歩きと、まち歩きで集めた情報を地図に整理・発表するワークショップ。	○	○			○						○	(問い合わせ先) 生活科学科生活デザイン専攻  対象者:小中学生と保護者
39	宮古短期	プログラミング教室(岩手県立大学宮古短期大学部協力会事業)	目的 実際にプログラミングを行うことで、プログラミングの面白さに触れてもらう。  内容 Micro:bitと呼ばれるコンピューターを使用し、実際にプログラミングを行う。	○	○				○	○	○	○	○	○	(問い合わせ先) 宮古短期大学部事務局 電話:0193-64-2230

	学部等	取組名	取組概要	対象者					実施年度					備考		
				小学生	中学生	高校生	大学生	一般	R3	R4	R5	R6	R7		R8 (予定)	
40	宮古短期	生涯学習講座	<p>目的 地域社会の教育、学術、文化の発展に貢献することを目的として、専任の教員による「生涯学習講座」を実施。</p> <p>内容 各教員の専門分野に関する講義を行う。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>(関係資料等) 宮古短大HP <a href="http://www-myk.iwate-pu.ac.jp/about/post_9.html">http://www-myk.iwate-pu.ac.jp/about/post_9.html</a> (問い合わせ先) 宮古短期大学部事務局 電話:0193-64-2230</p>
41	研究・地域連携室	Rubyプログラミング教室	<p>目的 プログラミングを通じて児童生徒の知的探究心を育成し、進路意欲の醸成や人材の確保などの地域貢献を図る。</p> <p>内容 滝沢第二中学校科学技術部を対象としてRubyプログラミング教室を開催する。</p>		○				○	○	○	○	○	○	○	<p>(問い合わせ先) 研究・地域連携室 電話:019-694-3330</p>
42	研究・地域連携室	防災教育	<p>目的 地域の小学生から高校生を対象に、防災に関する講話や避難所体験ゲーム等の実施を通じ、防災意識の涵養等を図る。</p> <p>内容 県内小学校、中学校及び高校における防災講演、避難所体験ゲーム、災害図上訓練等の実施</p>	○	○	○					○	○	○	○	○	<p>(問い合わせ先) 防災復興支援センター (事務局:研究・地域連携室) 電話:019-694-3330</p>
43	研究・地域連携室	地域連携棟一般公開	<p>目的 秋のオープンキャンパスに併せて地域連携棟を一般公開し、研究・活動の展示等を行うことにより、本学への興味関心を高め、関わりの増加を図る。</p> <p>内容 研究成果の展示、Rubyゲーム体験、電子工作体験等</p>	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	<p>(問い合わせ先) 研究・地域連携室 電話:019-694-3330</p>
44	研究・地域連携室	子ども起業体験ワークショップ in 岩手県立大学	<p>目的 小学生(4~6年生)を対象に「起業」を擬似的に体験してもらうことで、経済活動の一連の流れを知るとともに、将来、職業を選ぶ際の選択の幅を広げてもらう。</p> <p>内容 児童が仮想の会社を設立して、商品企画から、事業計画作成、資金調達(借入)、商品製造、販売、決算までの一連の工程を体験する。</p>	○									○	○	<p>(問い合わせ先) 研究・地域連携室 電話:019-694-3330</p>	
45	教育支援室・入試グループ	大学見学・授業見学	<p>目的 本学の概要及び学生生活等について理解してもらう。</p> <p>内容 大学の概況説明、学生による学生生活及び入試体験の発表、キャンパスガイド、Web講義の視聴、授業見学、模擬講義の受講</p>		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	<p>(関係資料等) <a href="https://www.iwate-pu.ac.jp/examination/ko-ugi-kengaku.html">https://www.iwate-pu.ac.jp/examination/ko-ugi-kengaku.html</a> (問い合わせ先) 教育支援室 入試グループ 電話:019-694-2014</p>